

鈴木太郎 * 選

一般の部「自由に四季を詠んだ作品」◎入選

昨日より遠回りして蒞のとう

投げ苗と言ふ遠き日の我が役目

震災の痕はいずこや海開き

帰省子の井戸水飲んで上がりけり

納骨や軽き両手に入道雲

歯抜けの児担ぐ大きな水鉄砲

観桜や妻とふたりの物語

自己新の背面跳びや冬の虹

革靴馴染みてきたり夏に入る

墓洗ふ来られぬ母の言伝も

野焼きの火義憤のごとく走りけり

狛犬の巻毛ゆるりと秋日和

手と足と分らなくなる炎天下

清明や湖水に遊ぶ松の枝

うねり来る風は光に夕芒

国境の宮の算額稲田風

藤房や智恵子の空に色溶かす

路地裏の水天宮や草青む

置き忘れ度忘れもして年用意

秋澄むや吊橋行き来する餅

白河市 中里 雅子

矢吹町 木戸 和男

宮城県大河原町 水上 靖夫

埼玉県さいたま市 増田 信雄

福島市 穴澤 直

白河市 小林 富子

岩手県奥州市 小野寺 標石

白河市 久保田 直

白河市 田村 玲子

栃木県那須町 山崎 綾子

白河市 大平 茂勝

矢吹町 ほづみ ゆきこ

矢吹町 印田 弘司

白河市 菅野 キチ

須賀川市 伊豆 周治

須賀川市 伊豆 周治

郡山市 岩村 勝

鏡石町 清水 慧

茨城県日立市 黒澤 かすみ

和歌山県紀の川市 中島 走吟

祭笛先達既に年貢町

立秋の閑跡の森散華めく

楽翁の社耀ふ花燭

轟音はさくら祭の火縄銃

薄紅葉南湖神社の古神籤

駅前のお翁の像に雪二寸

水鳥の来ては南湖の白殖やす

門松や関山麓の地藏堂

露ひとつ芭蕉の句碑を流れけり

寅吉の狛犬春の地震震む

矢狭間の明り滲めり花月夜

名月や城の明暗仰ぎ見る

夏負けや妻の返事のすげなくて

秋高し三重櫓の白き壁

国境を分かつ二夕宮稲光

紫陽花の萼まだ白く谷津田川

人柱立てし城址や薔薇の昼

矢吹町 木戸 和男

玉川村 田子 ユキ子

白河市 岡部 赤崩山

矢吹町 納谷 一光

矢吹町 納谷 一光

矢吹町 納谷 一光

石川町 田畑 剛

白河市 久保田 直

岩手県一関市 青星 ふみる

白河市 田村 玲子

白河市 佐藤 佳夫

白河市 古森 栄子

矢吹町 印田 弘司

須賀川市 伊豆 周治

須賀川市 伊豆 周治

白河市 遠藤 優子

茨城県日立市 黒澤 かすみ

海外の部 ◎入選

盛り上がる地球の丸み星月夜

高らかに感謝と賛美天の川

日本人の名の付く街路桜咲く

返り花母の小言も詩に思え

冬山やどこまで登るわが傘寿

伯 サンパウロ州サンパウロ市 坂上 美代江

伯 パラー州トメアス市 三宅 昭子

伯 サンパウロ州サンパウロ市 吉野 武子

伯 サンパウロ州サンパウロ市 伊藤 きみ子

伯 サンパウロ州ド・ド・カンボ市 松田 勲

一般の部「白河を詠んだ作品」◎入選

雪かきもリハビリという老いの身に

年語る土間に並べし生地達磨

蟬を聴く翁の像は口むすぶ

白河市 松本 カツ子

埼玉県さいたま市 増田 信雄

埼玉県さいたま市 増田 信雄